



児童発達支援 事業者向け自己評価結果表

事業所名 (特非)発達支援ネットワークつむぎ つむぎ高梁

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点	改善目標、手立て
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	3		<ul style="list-style-type: none"> ・個別エリアが閉鎖的に感じられることがある。空間を広くする工夫をしたい。 ・振り替え利用が入ると、利用児が増え、狭く感じることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後人数を考慮した、部屋の構造化やスケジュールの工夫を行い、定期的に見直していきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	1	3		<ul style="list-style-type: none"> ・利用の振り替えやスタッフの急なお休みなどが重なる時、マンツーマン対応が必要な状況が出た時は少ないと感じることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して過ごせる環境面の改善、個別支援の充実、受け入れ人数の適切な調整を行っています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	2		<ul style="list-style-type: none"> ・個々の特性、興味関心に寄り添い、わかりやすく環境整備をするように心掛けている。 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2	2		<ul style="list-style-type: none"> ・時期にあった環境設定を心掛けている。手指消毒、加湿器の使用、玩具消毒などは適切に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・用具の劣化や壁面の汚れ等は見られる。安全美化点検の取り組みの強化、改善点が見つかった時の早期報告、早期対応を全スタッフに周知していきます。
	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2	2			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	1		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートの結果は実施している。評価結果を受けて、今後の支援体制や相談体制を整備している。 	

業務改善	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの事業に携わるスタッフが中心となり自己評価をしている。客観視する機会となり、見直しの良い機会となる。 ・結果は毎年公表している。 	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者による外部評価はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部の方を法人理事に就任していただいたことで、また違った視点の評価をしていただく機会が増えます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・新人向けの研修会に参加したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修の情報を発信も行っていきますので、業務バランスを考えながら自主的に参加するなど、自己啓発に努めてほしいと思います。
適	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、NCプログラムの導入により、スタッフにも保護者にもお子様の発達状況が分かりやすくなった。 	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・複数のアセスメントツールを活用し客観的に評価できるようにしている。 	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・この視点はバランスを大切にして支援を組み立て、地域の中で協働的にお子様の成長をサポートしている。 	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・通所支援計画書に基づき、日々の支援記録表を作成し、評価している。 	

適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか		4		・児童発達管理責任者を中心に他の職員の提案を受けながら立案している。	・作成した通所支援計画書をもとに各職員がお子さんの日々の様子、必要な課題を考え、作成しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	1		・スケジュールは固定化させている。	・活動内容の充実、展開をしていき、楽しく学べるようにしていきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を敵宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成しているか	4			・個別活動と小集団活動と基本的には組み合わせ、設定するようにしている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		4		・短時間の中でも効果的に支援ができるよう、スタッフにも視覚的手がかりを多数準備している。また療育中にお互いに声掛け等も大切にしている。 ・児童の来所時間や職員の出退勤時間はあるが、一斉集合の時間が取れるといいと思う。	・当日の運営ボードを作成し、動きの確認を各職員が自主的に確認、シミュレーションできる状況を整えています。必要な確認事項は、その都度声掛けをしたり、情報共有ツールを活用し周知することにより共有していきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		3	1	・時間確保が必要かと思う。 ・わからないこと、個々で気になったことは上司に相談し情報共有をしている。	・毎日の会議式での時間の確保は難しい状況はあるが、わからないこと等をすぐに上司に相談・報告をする風土があり、こちらも効果的かと感じています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	1		・記録をし、連絡帳はコピー管理をしていますので、確認しながら日々の支援に役立てている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4			・再アセスメントをし、モニタリング実施をしている。	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			・基本的には担当の日々の課題を考案するスタッフが参加するようにしている。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	2	2		・会議の際には保健師の参加があり、情報共有ができています。	

関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				・受給指定対象児はなし。	・今後自立支援協議会、児童部会にて専門部会が設置される予定なので、まずは情報収集から始めたいと思います。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				・受給指定対象児はなし。	・今後自立支援協議会、児童部会にて専門部会が設置される予定です。医療機関の参加も提案させていただけたらと思います。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4				・3歳児入園、保育園入園や転園の場合に関して、実施している。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4				・毎年2~3月に実施できるよう今年度当初より調整をする準備をしている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	3			・現状では個別ケースに関して、他事業所との連携はない。ただし、他事業所企画の勉強会に参加することはある。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	2		・事業所自体の交流機会はない。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	1	1			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	1			・利用児が増え、申し送り時間の確保は課題。十分な相談が必要な場合は事業所内相談をするようにしている。	・申し送りでは、当日のねらいや様子について要点を絞って伝えていきます。必要に応じて事業所内相談を実施しています。

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	2	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニングの実施。 ・保護者対象の学習会も実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の座談時間や質疑応答の時間が多く取れるように、今後内容を変化させていきたいです。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	1		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に実施している。 	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	3	1		<ul style="list-style-type: none"> ・説明をし、押印いただいたうえで、支援の開始をしている。 	
	34	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	1		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内相談の実施を提案させていただいている。 	
	35	父母の会の活動を支援し、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	1		<ul style="list-style-type: none"> ・事務局をしており、役員やサポーター会員の希望を確認しながらサポートしている。 	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	1		<ul style="list-style-type: none"> ・自己判断できにくいことは上司に判断を仰いでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・要望書の書式を活用し、対応の流れを確認し必要に応じた周知の対応を行っています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			<ul style="list-style-type: none"> ・毎週末、つむぎ通信の発行。また、HPにFacebookを貼り付け、誰でも見れるように工夫している。 	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4			<ul style="list-style-type: none"> ・大切な情報は鍵付きのロッカーに入れ、毎日施錠して帰宅している。 ・セコム管理も実施している。 	

	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	1		・視覚的な手立ての活用。 ・保護者の方へはメール等も活用し伝えたいことが明確にできるように工夫している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	2	1	・イベントの案内などをfacebookで情報案内をしたり、内容によっては、関係機関にチラシを郵送している。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3	1		・マニュアル等を作成しているが、保護者にわかるようにしているものばかりではない。	・閲覧できるように整えています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			・今年度は消防署にも来ていただき年2回実施している。	・次年度は回数の増加を検討したいと思います。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	3	1		・診断書の提出はないが、別紙書面にて事前確認、対応方法などを保護者に教えていただいている。	・契約時に確認しています。基本情報シートの書式の中でも記入して頂くようにしています。具体的な対応が必要な方に関しては、対応マニュアルを作成しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	2		・医師との連携はしていませんが、アレルギー除去食を提供されているかの確認は必聞き取り、それに準じて対応している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	1		・日々取り組んでいる。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3			・法人内研修で実施している。今年度はお子様の氏名の呼び方なども考える機会となった。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3				・幼児期のお子様に関して、基本的には身体的拘束をしない方針です。ただし、今後ケースが出てきた場合には、契約時や必要時に個別に十分なお話をさせていただきます。